



◆8月のCP市場動向

8月末のCP市場残高は25兆5,668億円と前月比で1,313億円減少した。発行市場は、月を通して償還超となったものの、食料品、石油製品、電気機器、不動産業、電気業、小売業、卸売業で大型の案件が観測されたことにより、前年同月比では8,666億円の増加となった。

業種別残高では、その他金融は11兆6,190億円（同+1,664億円）と増加した。一方で、一般事業法人は8兆8,080億円（前月比▲1,361億円）、ABCPは2兆2,282億円（同▲875億円）、証券は2兆5,329億円（同▲10億円）と減少した。入札案件の発行レートについては、前月に引き続き、a-1格相当の銘柄で1か月物は0.50%台前半での出会い、3か月物が0.50%台後半から0.60%台前半での出会いとなった。

注：「一般事業法人」＝事業法人からその他金融を除いたもの

【業態別残高内訳】

業 態	8月末残高	7月末残高	増 減
一般事業法人	88,080	89,441	-1,361
その他金融	116,190	115,180	1,010
金融機関	29,116	29,203	-87
政府系金融	0	0	0
銀行等	3,787	3,864	-77
証 券	25,329	25,339	-10
A B C P	22,282	23,157	-875
計	255,668	256,981	-1,313

（出所：証券保管振替機構）

【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+（一般事業法人）	0.499% ～ 0.570%	0.521% ～ 0.609%	0.580% ～ 0.638%
a-1（一般事業法人）	0.500% ～ 0.600%	0.538% ～ 0.600%	0.540% ～ 0.675%
a-1+（リース銘柄）	0.501% ～ 0.620%	0.545% ～ 0.572%	—— ～ ——
a-1（リース銘柄）	0.530% ～ 0.590%	0.560% ～ 0.589%	0.640% ～ 0.649%
a-2	0.577% ～ ——	—— ～ ——	0.597% ～ 0.757%

«短期社債登録状況»

	6月末	7月末	8月末
登録企業数	549	550	552
増減	1	1	2

(出所：証券保管振替機構)

«CP現先市場»

現先（S/N）レートは、0.40%台での出会いとなった。

◆9月のCP市場動向

9月のCP発行市場は、事業法人による四半期末の残高調整の影響で、月末までの期内物を中心とした発行が見込まれる。発行レートは、残高の積みあがった期内物に関しては0.50%台後半、9月末を跨ぐ1か月物に関しては0.50%台半ばでの出会いとなる見通しである。3か月物に関しては、日銀の年内利上げを意識しながら、0.50%台後半からレートの上昇余地を探る展開を予想する。

参考資料

【8月末残高発行上位10社】

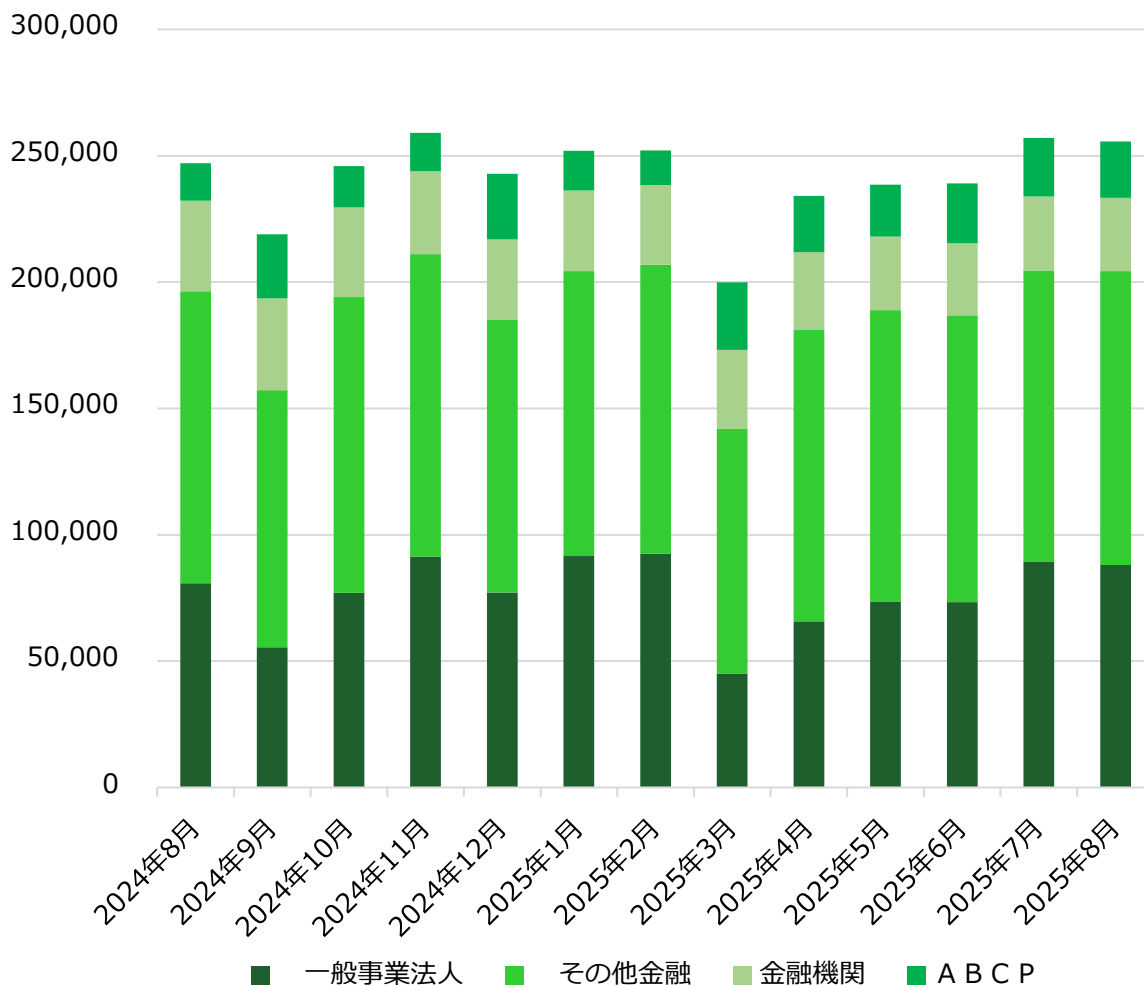
	発 行 企 業 名	8月末残高	7月末残高
1	NTTファイナンス	13,925	13,750
2	三菱HCキャピタル	8,985	9,090
3	NTT・TCリース	8,470	8,450
4	三井住友ファイナンス&リース	7,690	8,240
5	合同会社AFC	7,004	0
6	日本製鉄	6,110	5,290
7	みずほリース	5,760	5,465
8	三菱商事	5,790	6,070
9	J A三井リース	5,070	4,920
10	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,059	4,885

(出所：証券保管振替機構)

【短期社債市場残高】

(2024年8月～2025年8月)

(単位：億円)



(出所：証券保管振替機構より当社作成)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会